



八中だより



第21号

令和6年2月15日

府中市立

府中第八中学校

学びと
思いやり

〈在籍生徒数〉 一年生249名、二年生261名、三年生241名

全校生徒数751名

〈学校住所・電話番号〉

〒182-0035 府中市四谷一丁目二八二七

電話 〇四二(三六四)一八八一

★インフルエンザなどの感染症が流行中！
手洗い・うがいで予防！
がけついで消毒！
マスクの着用！
いきまじゅう！

『知好楽と内発的モチベーション』

校長 高汐 康浩

少し前に、増田明美さんのお話を伺う機会があった。増田さんは、元女子マラソン・陸上競技長距離走の選手として大活躍をした方だ。最近ではテレビドラマなどの出演等多方面で活躍されているので皆さんも知っているのではないだろうか。現在は大学教授、スポーツジャーナリスト、スポーツライター、各種スポーツ競技解説者、タレント、ナレーターなどで活動中だ。中学生が関係するところといえばコロナ前まで行われていた中学生「東京駅伝」大会の解説者としてユーモアたっぷりの解説が印象的だった。増田さんの選手時代のことについて少し触れたい。選手として、数々の輝かしい記録を残している。長距離種目では次々に日本記録を樹立した。一九九二年に引退するまでに、一九八四年のロサンゼルスオリンピックに出場、日本最高記録を二回、世界最高記録を二回更新するなどの実績を残した。私はNHKの連続テレビ小説「ひよっこ」の語りをされた増田さんを思い出す。今回の話のタイトルの『知好楽』は、増田さんが座右の銘としている言葉だ。『知好楽』とは孔子（大昔の中国の哲学者）とその弟子たちが残した言葉である「論語」の一節にある。本文には、

「子曰、知之者不如好之者、好之者不如樂之者」と記されている。漢文の書き下し文「子（孔子のこと）曰（いわ）く、これを知る者はこれを好む者に如（し）かず（※）。これを好む者はこれを樂しむ者に如かず。」を読むとなんとなく意味を理解できるかもしれない。（※如かず：かなわない、およばないという意味）もう少し分かりやすく解説すれば、日頃の学習で、「その知識を知っているということとは、勉強を好きな人間には及ばない。勉強を好きな人間は勉強を樂しんでいる人間には及ばない。」というような意味だ。

このことに関して紹介したいことがある。三年生の教室に掲示されているある生徒の『学習目標』だ。その生徒の目標は、「まじめに樂し



く勉強する』である。もちろん、中学生にとって勉強はやらなければならぬことである。「受験勉強」というと苦しいもの、つらいことというイメージがあるかもしれないが受験勉強を通して勉強する楽しさを見つけたなら、その生徒にとって大きな転換点であり、大きな進歩である。まさに学びに向かう力の獲得である。

もう一点は、ずいぶん前にフィリピンの田舎町を訪れたときの話だ。屋台のような店で買い物をしていたときに、中学生ぐらいの少年に「こんにちは」と声を掛けられた。その言葉は日本語だったので初めは違和感なくあいさつを返したが、直後に「なぜ」と思ったのである。日本人の少年か、と思いつつ「日本人ですか？」と尋ねたら、「いいえ、フィリピン人です。」という言葉が返ってきた。その後いろいろと会話をすると、中であわかったことが、小さい頃から日本が大好きでインターネットで日本のことを調べながら、同じくインターネットを活用して独学で日本語をマスターしたということであった。その少年の話す日本語はとてもナチュラルであり、独学で学んだことが信じられないほどであった。その少年には持ち合わせていた日本の五十円玉（日本以外の国では穴の開いたコインは珍しい）をプレゼントしたら大喜びをしていた。

この二点のことに共通することが『内発的モチベーション』の現れだ。心の奥底から湧き出る新鮮な「やる気」とでも表現したらよいのか、言葉で説明するのは難しい。勉強をするにしても、仕事をするにしても、外的誘因、つまり「やらされてる感」から始まることは多くある。世界で大活躍した増田さんも現役時代にはスランプにずいぶん苦しんだ。法政大学の学生時代は八王子キャンパスのまわりの落ち葉の積もった山道を一人で走っているときに自然と涙が出てきて、涙が止まらなくなった。スランプの苦しみの現れだ。その後しばらく陸上競技から離れてしまった時期があった。しかし、子供の頃からの経験などを振り返り、再び「やる気」を取り戻したのだ。中学生の皆さんにはいろいろなる経験をとおして『知好楽』を実現してほしいと思う。

シリーズ

ふるさと府中を学ぶ

府中市のシンボルである「馬場大門のケヤキ並木」は、令和六年に国の天然記念物に指定されてから百周年を迎えます。ケヤキ並木は、一九二四年、全国で二番目に国指定の天然記念物に指定されました。ケヤキ並木として天然記念物の指定を受けているのは日本で唯一であり約千年の歴史をもっています。

「馬場大門」は、都立農業高等学校の前から大國魂神社前交差点までの間の道の古い名称です。府中では、軍馬の馬市が行われていた。府中の馬市は、戦国から江戸時代初期には、伝統をもった市として高い地位にありました。関ヶ原の戦い・大坂冬の陣・夏の陣には多くの馬を徳川方の陣所に出され活躍したので、家康はけやき並木の両側に東馬場、西馬場の二つの馬場を寄進しています。馬市は、駒くらべ式の日（五月三日）から九月まで開催されていました。



『武蔵府中郷土かるた』の画像の使用については、府中市ふるさと文化財課の許可をいただいています。

活躍する八中生

〔敬称略〕

★卓球部★

第四十六回東京都中学校新人卓球大会

男子団体 第二位

浅倉陽和太 和田塔矢

石川蓮真 岡部翔之介 松平昌大

杉浦陽向 岡本悠真

東京都北多摩南地区新人卓球大会

男子シングルス

第一位 浅倉陽和太

第五位 松平昌大

第五位 岡部翔之介

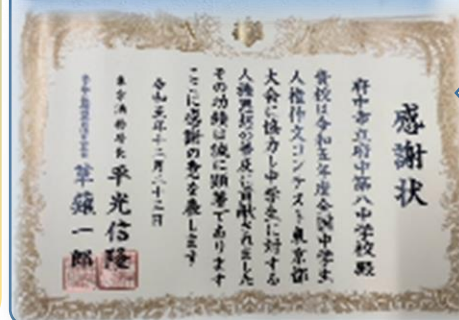
第四十二回府中市ジュニア卓球大会

中学生女子

優勝 藤本ゆずな

準優勝 畔上夏実

第三位 利根川花奈



まて普学大コ中
し感及生会中
た謝へのへテ
状の人のス人
を貢権協ト権
い献思力東作
たに想と京文
だ対の中都
きし



後期教育活動アンケートから分かること

- ◎ 92% (前期比+4ポイント) の生徒が、学習や生活に目標をもって取り組んでいます。そのうちの60% (前期比+27ポイント) の生徒は「よく取り組んでいる」と回答しています。
「よく取り組んでいる」生徒の割合は、前期は33%でしたが、後期は60%に増えています。どの学年も肯定的回答が多くなりました。
- ◎ 94% (前期比+16ポイント) の生徒が、防災に関する学習に意欲的に取り組んでいます。そのうちの55% (前期比+26ポイント) の生徒は「よく取り組んでいる」と回答しています。
意欲的に取り組んでいる生徒の割合が大幅に増えました。これからも、地域と連携した防災教育により、将来、主体的に地域の安全文化の構築に貢献できる生徒を育てていきます。
- ◎ 97% (前期比+2ポイント) の生徒が、学級の活動、学校行事に進んで取り組んでいます。そのうちの63% (前期比+9ポイント) の生徒は「よく取り組んでいる」と回答しています。
3年生の99%、2年生の97%、1年生の95%の生徒が肯定的回答をしています。上級生がよい手本となっていることがわかります。
- △ 69% (前期比-28ポイント) の生徒が、交通ルール、社会のルール、学校生活の決まりを守っています。
割合が大幅に減りましたが、生徒の皆さんの行動から、ルールに対しての意識の高まりはあると捉えています。4月からは、すべての自転車利用者に乗車用ヘルメットの着用の努力義務が課されました。これも交通ルールのひとつです。
- ◎ 93% (前期比-4ポイント) の生徒が、友達などに思いやりの気持ちをもって接しています。そのうちの63% (前期比+13ポイント) の生徒は「よく接している」と回答しています。
どの学年も肯定的回答が90%を超えています。全体的にやさしい心や思いやりの気持ちがしっかりと育っていることがわかります。
- ◎ 91%の生徒が、道徳の授業にしっかりと取り組んでいます。そのうちの47%の生徒は「とてもよく取り組んでいる」と回答しています。
どの学年も肯定的回答が90%を超えています。豊かな心を着実に育む道徳科授業を行っています。